

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【公表番号】特表2020-509676(P2020-509676A)

【公表日】令和2年3月26日(2020.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2020-012

【出願番号】特願2019-543854(P2019-543854)

【国際特許分類】

H 04 L 1/16 (2006.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 28/04 (2009.01)

【F I】

H 04 L	1/16	
H 04 W	72/04	1 3 1
H 04 W	28/04	1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月29日(2021.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信用のための方法であって、

第1のトランスポートブロック(TB)の少なくとも一部を含む第1の送信を受信するステップであって、第1のTBが、第1の送信時間間隔(TTI)持続時間有する第1のTTI内に送信されるコードブロック(CB)のセットを含む、ステップと、

前記CBのセットのサブセットの受信が不成功になったことの指示を送信するステップと、

第1のTTI持続時間または前記第1のTTI持続時間より短い第2のTTI持続時間のうちから選択されるTTI持続時間有する第2のTTI内に前記CBのセットの前記サブセットの再送信を受信するステップと、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信を受信するステップと少なくとも部分的に同時に、前記第1のTTI持続時間有する第3のTTI内に第2のTBの少なくとも一部を含む第2の送信を受信するステップとを含む、

方法。

【請求項2】

前記第2のTTIが、前記第1のTBの前記CBのセットの前記サブセットのみを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

利用可能なリソースブロック(RB)割振りのセットおよび利用可能なTTI持続時間のセットからRB割振りおよび前記第2のTTIの前記第2のTTI持続時間を識別するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記方法が基地局によって実行され、前記識別するステップが、

前記第2のTTI内に再送信されるべき前記CBのセットの前記サブセット内のCBの数を決定

するステップと、

前記CBの数に少なくとも部分的に基づいて前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間を決定するステップと、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信のために使用されるべき前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間を示す制御情報をユーザ機器(UE)に送信するステップとを含む、

請求項3に記載の方法。

#### 【請求項5】

前記方法がユーザ機器(UE)によって実行され、前記識別するステップが、

前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間を示す制御情報を受信するステップを含む、請求項3に記載の方法。

#### 【請求項6】

前記再送信を受信するステップが、

前記再送信が前記CBのセットの前記サブセットの前記指示に応答するものであり、前記CBのセットの前記サブセットのみを含むこと、または前記再送信が前記CBのセットを含むことの指示を受信するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

#### 【請求項7】

ワイヤレス通信のための方法であって、

第1のトランスポートブロック(TB)の少なくとも一部を含む第1の送信を送信するステップであって、前記TBが、第1の送信時間間隔(TTI)持続時間有する第1のTTI内に送信されるコードブロック(CB)のセットを含む、ステップと、

前記CBのセットのサブセットの受信が不成功になったことの指示を受信するステップと、

第1のTTI持続時間または前記第1のTTI持続時間より短い第2のTTI持続時間のうちから選択されるTTI持続時間有する第2のTTI内に前記CBのセットの前記サブセットの再送信を送信するステップと、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信を送信するステップと少なくとも部分的に同時に、前記第1のTTI持続時間有する第3のTTI内に第2のTBの少なくとも一部を含む第2の送信を送信するステップとを含む、

方法。

#### 【請求項8】

前記第2のTTIが、第1のTBの前記CBのセットの前記サブセットのみを含む、

請求項7に記載の方法。

#### 【請求項9】

利用可能なリソースブロック(RB)割振りのセットおよび利用可能なTTI持続時間のセットからRB割振りおよび前記第2のTTIの前記第2のTTI持続時間を識別するステップをさらに含む、

請求項7に記載の方法。

#### 【請求項10】

前記方法が基地局によって実行され、前記識別するステップが、

前記第2のTTI内に再送信されるべき前記CBのセットの前記サブセット内のCBの数を決定するステップと、

前記CBの数に少なくとも部分的に基づいて前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間を決定するステップと、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信のために使用されるべき前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間を示す制御情報をユーザ機器(UE)に送信するステップとを含む、

請求項9に記載の方法。

#### 【請求項11】

前記方法がユーザ機器(UE)によって実行され、前記識別するステップが、前記RB割振りおよび前記第2のTTI持続時間示す制御情報を受信するステップを含む、請求項9に記載の方法。

【請求項12】

前記再送信を送信するステップが、

前記再送信が前記CBのセットの前記サブセットの前記指示に応答するものであり、前記CBのセットの前記サブセットのみを含むことの指示を送信するステップをさらに含む、

請求項7に記載の方法。

【請求項13】

システムにおけるワイヤレス通信のための装置であって、

第1のTBの少なくとも一部を含む第1の送信を受信するための手段であって、前記第1のTBが、第1のTTI持続時間有する第1のTTI内に送信されるCBのセットを含む、受信するための手段と、

前記CBのセットのサブセットの受信が不成功になったことの指示を送信するための手段と、

前記第1のTTI持続時間または前記第1のTTI持続時間より短い第2のTTI持続時間のうちから選択されるTTI持続時間有する第2のTTI内に前記CBのセットの前記サブセットの再送信を受信するための手段と、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信を前記受信することと少なくとも部分的に同時に、前記第1のTTI持続時間有する第3のTTI内に第2のTBの少なくとも一部を含む第2の送信を受信するための手段とを備える、

装置。

【請求項14】

システムにおけるワイヤレス通信のための装置であって、

第1のTBの少なくとも一部を含む第1の送信を送信するための手段であって、前記第1のTBが、第1のTTI持続時間有する第1のTTI内に送信されるCBのセットを含む、送信するための手段と、

前記CBのセットのサブセットの受信が不成功になったことの指示を受信するための手段と、

前記第1のTTI持続時間または前記第1のTTI持続時間より短い第2のTTI持続時間のうちから選択されるTTI持続時間有する第2のTTI内に前記CBのセットの前記サブセットの再送信を送信するための手段と、

前記CBのセットの前記サブセットの前記再送信を前記送信することと少なくとも部分的に同時に、前記第1のTTI持続時間有する第3のTTI内に第2のTBの少なくとも一部を含む第2の送信を送信するための手段とを備える、

装置。

【請求項15】

実行時に、請求項1～6または請求項7～12のいずれか一項に記載の方法をコンピュータに実行させるプログラムコードを含むコンピュータ可読記憶媒体。